



■一般国道290号大島バイパス

大島バイパスは、平成4年から新潟県が総延長4,080mの整備を進めてきており、平成30年9月19日、関川村土沢地内の最終工区1,130mが開通し全線開通となりました。この大島バイパスは接続する国道113号と一体的に機能し、広域的な発展に寄与するものと期待されています。

視点

- 1** 建設コンサルタントの担い手確保・育成
 ■(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部 副支部長
 大日本コンサルタント(株) 常務執行役員 関東支社長 山本 信二



完成式典の様子
(H30.4.13) ▶P.3

職場紹介

- 15** 人・環境・文化
 かけがいのない地域に貢献する
 ■得能建設工業(株)



除雪作業 ▶P.15

技術レポート

- 3** 日本海側の拠点港としてさらなる物流の効率化を目指す
 金沢港におけるガントリークレーン2号機の整備
 ■石川県 金沢港湾事務所
- 5** NEXCO中日本 金沢支社管内 北陸自動車道
 高速道路における跨道橋の構造物点検・補修の実施報告
 ■中日本高速道路(株) 金沢支社 金沢保全・サービスセンター
- 7** 舗装用洗浄剤の効果と舗装への影響
 舗装用洗浄剤の開発と評価
 ■大林道路(株)



はく落防止施工状況
▶P.5

先輩なう!

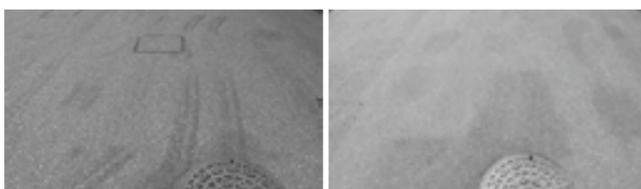
- 17** つながる安心、つながる未来。
 ■富樫 幸恵さん



富樫 幸恵さん ▶P.17

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 11** 工事における歩掛調査と
 諸経費動向調査について
 ■北陸地方整備局 企画部 技術管理課



タイヤ痕洗浄前

▶P.7

タイヤ痕洗浄後

- 13** NEXCO東日本の異工種工事の導入並びに
 i-Constructionの取組について
 ■東日本高速道路(株) 新潟支社 技術管理課



出典：国土交通省
 第7回CIM制度検討会
 ▶P.13



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
 E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp